

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2006-528773(P2006-528773A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-521106(P2006-521106)

【国際特許分類】

G 01 N	33/543	(2006.01)
C 12 M	1/00	(2006.01)
C 12 N	15/09	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
G 01 N	37/00	(2006.01)
G 01 N	21/78	(2006.01)
G 01 N	21/64	(2006.01)

【F I】

G 01 N	33/543	5 4 1 Z
C 12 M	1/00	A
C 12 N	15/00	F
C 12 Q	1/68	A
G 01 N	33/53	M
G 01 N	33/53	D
G 01 N	37/00	1 0 2
G 01 N	33/543	5 7 5
G 01 N	21/78	C
G 01 N	21/64	E
G 01 N	21/64	F

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体と、その上に配置された

生物学的プローブを担持する微小球の層と

を含むマイクロアレイであって、前記微小球が、該微小球を同定するために発色させて用いることができる潜在的カラーを有する少なくとも一種の物質を含むことを特徴とするマイクロアレイ。

【請求項2】

該潜在的カラーを有する物質が、ロイコ色素、ロイコ色素の前駆物質、写真カプラー、金属錯形成リガンド、フォトクロミック色素、又はサモクロミック色素であることを特徴とする請求項1に記載のマイクロアレイ。

【請求項3】

生物分析物を同定する方法であって：

潜在着色剤と生物プローブを含む微小球のアレイを用意するステップ；
前記微小球と前記生物分析物との間で接触させるステップ、該分析物は光学的放出タグで標識されている；
該生物分析物とプローブの間で相互作用させるステップ；
該アレイを洗浄して結合していない分析物を除去するステップ；
光学的放出タグからの信号を記録するステップ、プローブと分析物の結合から生ずる前記信号を画像Aとして記録する；
微小球内の潜在着色剤化合物を、検出できる光学シグナチャーに現像するステップ；
該光学シグナチャーを画像Bとして記録するステップ；及び
画像AとBを比較して該生物的ターゲットを同定し濃度を決定するステップ；
を含む方法。